

No. 308 テーマ

社用車ピカピカ大作戦

～ 小集団活動から学んだ私たちの成長ストーリー ～

会社・事業所名 (フリガナ) カブシキガイシャ グリーンテック ハンダニシエイギョウシヨ 発表者名 (フリガナ) オクガワ コバル コバヤシ
株式会社 グリーンテック 半田西営業所 奥川 小原 小林

品質サポート事業
国内ネットワークを活かした対応力と実績・信頼で世界の品質を守ります。
検査、選別、加工修正等の緊急対応・品質パトロール・工程請負など

エンジニアリングソリューション事業
開発～生産技術領域を中心にエンジニア派遣や製品・設備設計受託まで幅広く対応します。

ILメンテナンス事業
様々な倉庫や工場内運搬の重要な役割を担っているシステムをメンテナンス管理します。

【会社紹介】

株式会社 グリーンテックは
愛知県 名古屋市に本社を置き
国内に53か所 国外に4か所の営業所があります。
主な事業は、品質サポート事業、エンジニアリングソリューション事業、ILメンテナンス事業となっております。
品質への貢献で、日々「安全・安心」をお客様と共に実践しています。

品質サポート事業

- 緊急対応
お客様の緊急時にスピーディーかつ柔軟に対応します。
- 常駐対応
お客様の生産業務に対し、業務負荷の軽減をサポートします。
- 受託対応
製品のお預かりから納品までワンストップサービスでご利用いただけます。
- 海外対応
世界中どこでも質の高いサービスをご提供します。

お客様へ「感動体験」をお届けするために提供サービスの向上に努めています！

【職場紹介】

私たちが働く半田西営業所は、
赤レンガ建物や山車（だし）祭りで知られる愛知県 半田市にあり
社員67名が品質サポート事業を通じて、お客様へ感動体験をお届けするために社員一丸となり提供サービスの向上に努めています。

岩橋所長の想い
本所で推進している小集団活動「Quick-Qcc活動」にチャレンジし営業所の組織力向上に繋げたい

Quick-Qcc活動 *2022年度スタート

- ・業務の隙間時間を活用！
- ・メンバーは固定しない！
- ・会合に事務局も参加し指導しながら教育&実践同時進行！
- ・A3フォーマットで完結スピードアップ！

緊急&短期間の案件が多い同じ時間に集まるのが困難経験者、指導者がいない
ビジネスモデルにマッチした活動方法を考えよう！

【活動のきっかけ】

活動のきっかけは2023年4月に半田西営業所へ岩橋所長が着任。
社員との会話や行動から所長は、チームで問題解決する組織力に課題ありと感じ、本社の業務品質が推進している小集団活動「クイックQCC活動」にチャレンジ。
営業所の組織力向上を目論みました。
クイックQCC活動とは、当社の小集団活動の名称で
・会合は業務の隙間時間を活用
・メンバーは変動可で固定せず
・事務局も一緒に会合に参加し教育と実践指導を同時進行
・A3フォーマットで完結スピードアップなど
QCCサークルの基本ベースに工夫を取り入れ、緊急や短期間の案件が多い当社のビジネスモデルにマッチさせた改善活動です。

【営業所内組織図】

統轄マネージャー — サブマネージャー：小原 (リーダー兼任) テーマリーダー
職長：奥川 リーダー 坂本・岩田 現場対応社員
事務員 サークルリーダー 小原・小林

所長 若手職長 奥川：社員を牽引する存在に⇒サークルリーダー
サブマネ1年目 小原：活動経験を自信に⇒テーマリーダー

【明るく働きがいのある職場】 【サークル能力】 【サークルレベル評価】

Y軸平均 2.4点 X軸平均 1.4点

初めてのQCC活動サークルレベルは「D評価」ワンランクアップを目指す！

【サークル紹介】

私 奥川は、この活動を通じて「社員を牽引する存在に成長したい」と思いサークルリーダーにサブマネージャー1年目の私 小原は、「活動を経験し自信に繋がりたい」とテーマリーダーに申しました。サークルレベルはこのように初めてのQCC活動で「D評価」ワンランクアップを目指します。

QCサークル紹介	サークル名 (フリガナ)		発表形式
	ピッカピカの一年生 (ピッカピカノイチネンセイ)		プロジェクト
本部登録番号	2455-1	サークル結成年月	2023年 12月
メンバー構成	12名	会合は就業時間	内・外・両方
平均年齢	35.4歳 (最高 64歳、最低 19歳)	月あたりの会合回数	2回
テーマ	本テーマで 1件目 社外発表 1件目	1回あたりの会合時間	2.25時間
本テーマの活動期間	2023年 12月 ~ 2024年 3月	本テーマの会合回数	9回
発表者の所属	品質事業本部 第4事業部 半田西営業所	勤続	平均 6年

テーマの選定 第1回会合 6/22

「不満」や「感じている事」をアンケートで集計
(所内全社員対象)
会合で話し合いウエイト付けを実施

アンケート結果 n=62
2023.12.14~12.19

「社用車の車内の汚れ」に社員は不満を抱えていた

上位3項目をウエイト付け

内容/評価項目	重要度	アピル度	改善難易度	社員満足度	評価点
① 社用車の車内が汚い	○	○	○	○	20
② 備品が指定の場所に戻されない	○	△	○	△	16
③ お客様現場環境について	○	○	△	△	16

「社用車ピカピカ大作戦」開始!

【テーマの選定】

営業所内の全社員を対象に不満や意見をアンケートで集計し、会合で話し合いとウエイト付けを行ったところ
社用車の車内の汚れに社員は不満を抱えていることが判り活動テーマに選定。
「社用車ピカピカ大作戦」と名付けて活動開始です。

ピカピカ大作戦① 現状調査 第2回会合 7/22

社用車の車内汚れの不満内訳 n=41

みんなて実車を確認 (現地・現物・現認)

ステアリングがべたべたする...
ドリンクホルダーの底も黒く汚れが溜まっています

カーペットにゴミが散乱

モノが置きっぱなし

シートが真っ黒...

社員の本音「ここが不満！」と感じている

- 1) 運転や操作で触る部分の汚れ
- 2) シートの汚れ
- 3) モノが放置されている

【ピカピカ大作戦① 現状調査】

社用車の車内の汚れに対する不満を更に分類すると、このように

1. 運転や操作で触る部分の汚れ
2. シートの汚れ
3. モノが置きっぱなしで放置されている の3つに分類されました。

みんなて実際に駐車場に止めている社用車を見に行くと中にはこちらのような状態の車もあり
「この車に乗ってお客様の現場に行きたくないな〜」と女性社員からこんな声も聞かれました。

ピカピカ大作戦② 目標設定 第3回会合 8/22

所内「車両管理チーム」の小林リーダーが参加

小林リーダー「車両管理チーム」一年目

みんなの車内汚れの不満をゼロにしたい!

活動が一気に燃え上がる

目標値の設定

何を	社用車の車内汚れの不満を
いつまでに	2024.3.15までに
どうする	0人にする

* 車両管理チームとは
社用車の走行距離や使用経費などを管理しているチーム

【ピカピカ大作戦② 目標設定】

第3回会合では、社用車の使用経費などを管理している車両管理チーム一年目の小林も参加。
「みんなの車内汚れの不満をゼロにしたいです！」
小林の強い想いで活動が一気に燃え上がり
目標値を
社用車の車内汚れの不満を2024年3月15日までにゼロ人にする と設定しました。

ピカピカ大作戦③ 活動計画の立案 第3回会合 9/22

事務局の指導を受けながら会合を推進

活動	担当	12月	1月	2月	3月
テーマの選定	全員	→			
現状調査	奥川、小原	→	→		
目標設定	小原、小林		→	→	
活動計画	全員		→	→	→
要因解析	小原、小林		→	→	→
対策の検討と実施	全員		→	→	→
効果の確認	小原		→	→	→
標準化と管理の定着	奥川、小原		→	→	→
反省と今後の進め方	小原		→	→	→

その場でアドバイスを頂けるのでみんなが活発に発言できました!

【ピカピカ大作戦③ 活動計画の立案】

このように計画を立て、事務局の指導を受けながら会合を推進。
悩んだ時や行き詰った時に、その場でアドバイスを頂けるので
メンバーみんなが活発に発言できました。

ピカピカ大作戦④ 要因解析の実施1 第4回会合 10/22

特性要因図で車内が汚れる要因をみんなで考えてみよう!

カーペット

モノが放置

運転、操作部位

ドリンクホルダー

社用車の車内が汚れる

【社用車の車内が汚れる要因】

- ① 靴や衣類に付着した汚れ成分、ホコリが転着
- ② 飲料、水分がホコリを吸着し乾燥
- ③ 不要になったモノの廃棄、戻し忘れ

【ピカピカ大作戦④ 要因解析の実施1】

特性要因図を用いて社用車の車内が汚れる要因をみんなで洗い出しを行ったところ

- ① くつや衣類に付着した現場の汚れ成分やホコリが車内に転着する
- ② こぼれた飲料や容器に結露した水分が底にたまり車内のホコリを吸着して乾燥しこびりつく
- ③ 荷物の梱包材や雨具など不要になったモノを廃棄し忘れ、戻し忘れている

の3つの要因が抽出されました。

ピカピカ大作戦④ 要因解析の実施2 第4回会合 11/22

なぜ車内の汚れがそのまま放置されちゃうの?
連関図法で要因の相互関係を洗い出しましょう!

自分の車じゃない

誰かがやるだろう・他人事

頻度、タイミングが決まっていない

社員の意識の問題

基準が無い

ルールが無い

感覚の個人差

汚れていると感じていない

社用車の車内の汚れが放置される

見えない限り

自分の役目じゃない

役割が決まっていない

誰に言えば良いかわからない

環境の問題

場所がない

清掃したくてもできない

道具立てしていない

必要ツールがない

【車内の汚れが放置される要因】

- ① 誰かがやるだろう・他人事⇒社員の意識が不足
- ② 清掃頻度やタイミングが決まられていない⇒ルールが無い
- ③ 必要な道具立てをしていない⇒環境を整えていない
- ④ 役割が決まっていない⇒しくみになっていない

【ピカピカ大作戦④ 要因解析の実施2】

なぜ車内の汚れがそのまま放置されちゃうのかな?
さらに連関図法で要因の相互関係を洗い出してみると

- ① 誰かがやるだろうという人ごとで社員の意識が不足している
- ② 清掃頻度や実施するタイミング、基準のルールがない
- ③ 汚れを除去するための道具や環境を整えていない
- ④ やるべきこと、役割が決まっておらずきれいに維持するしくみになっていない

これら4つの要因にたどり着きました。

要因解析結果からの「気づき」と「反省」

12/22

もう一度「5Sの定義」を振り返ってみると・・・

- 「整理」～いらぬものを捨てる（区分、基準を決める）
- 「整頓」～置き場を決める（必要な時に、必要なモノを）
- 「清掃」～定期的に清掃し状態を点検（2Sの管理で異常に気付く）
- 「清潔」～3Sを維持するしくみ（正常な状態を保つ）
- 「しつけ」～ルールを守り、守らせる（自主自立的な人材を育成）

全てここに答えがあった！

5Sの理解と定着に大切なことは

【管理監督者の関心・関わり】

【気づきと反省】

5Sの原点に立ち返り組織的に維持管理できるしくみを考えなければ・・・

【要因解析結果からの気づきと反省】

要因解析の結果を受けて、もう一度 5Sについて定義を振り返ってみると

「整理」 いらぬものを捨てる。基準を決める。
「整頓」 置き場を決める。必要な時に必要なものを取り出せる。
「清掃」 定期的に清掃し状態を点検し異常に気付く。
「清潔」 3Sを維持するしくみで正常な状態を保つ
「しつけ」 ルールを守り、守らせる。自立の人材を育てる。
全ての答えはここにありました！

5Sの活動を定着させるためには、管理監督者である自分自身が関心を持ちしっかり関わっていくことが必要だと気づかされました。

「やれ、やれ！」と言うばかりでなく5Sの原点に立ち返り、組織的に維持管理できるしくみを一緒に考えることが自分の役目だったのです。

ピカピカ大作戦⑤ 原点回帰 第5回会合

13/22

集まったメンバーと一緒に会合時間で社用車の一斉掃除を実施（1月）

5Sの「整理」

汚れていた社用車はキレイな状態に「原点回帰」を行いました。

『キレイな状態＝基準』を維持するための対策を考えよう！

【ピカピカ大作戦⑤ 原点回帰】

集まったメンバーと一緒に社用車を一斉に掃除 5Sの「整理」を実施。

このように、汚れていた社用車はきれいな状態に原点回帰を行いこのきれいな状態を「基準」として維持するための対策をみんなで考えることとしました。

ピカピカ大作戦⑥ 対策の検討 第6回会合

14/22

系統図とマトリクス図を使って対策を検討

目的：組織的な活動で車内の清潔状態を維持管理する

一次手段：必要な道具を揃える

二次手段：計画的な購入と管理のしくみをつくる

三次手段（具体的手段）

三次手段	効果	実現性	継続性	評価点
① 必要品を明確にし購入管理、役割を決める	○	○	○	15
② 社員から不要品を回収する	△	×	×	5
③ 管理ツールの作成	○	○	○	15
④ 間接社員で活動する	△	×	△	7
⑤ ビジュアルコミュニケーションでの周知と共有	○	○	○	15

※ ビジュアルコミュニケーション：視覚伝達

ウエイト付けされた①③⑤について対策実施しよう！

【ピカピカ大作戦⑥ 対策の検討】

系統図とマトリクス図を使い「組織的な活動で車内の清潔状態を維持管理する」を目的に対策案を検討。

効果・実現性・継続性の3項目でウエイト付け

- ① 必要品を明確にし購入管理、役割を決める
- ③ 管理ツールの作成
- ⑤ ビジュアル コミュニケーションでの周知と共有の3つを対策に決定しました。

ピカピカ大作戦⑦ 対策の実施 1（2024.2月）

15/22

【対策項目①】必要品を明確にし購入管理、役割を決める

購入備品・管理のリストを作成

品名	チェック数	現在在庫数	補充数	現在の在庫数
3/1 長筒 ココロクリーン	12	8	4	6
3/1 小瓶 ココロクリーン	9	3	6	4
3/1 小瓶 ゴキ酸	2	2	0	2
3/1 小瓶 リセッシュ	1	1	0	1

専用バックに備品を入れて「必要備品をキット化」

5Sの「整頓」

購入管理について役割分担を決めフロー図で手順、ルールを設定

【ピカピカ大作戦⑦ 対策の実施 1】

対策項目 ①「必要品を明確にし購入管理、役割を決める」

所長と事務員も交えて道具の購入、管理の方法を考え必要な備品をキットにして専用バックで携帯できるように5Sの「整頓」をしきり化しました。

購入管理についても役割分担を決めこのようにフロー図で手順を設定し購入から管理までの流れをルール化しました。

ピカピカ大作戦⑦ 対策の実施 2（2024.2月）

16/22

【対策項目③】管理ツールの作成

【対策項目⑤】ビジュアルコミュニケーションでの周知と共有

5Sの「清掃」

管理ツール「清掃手順書」で手順、頻度を明文化

手順を動画にして「V・C教材」に社員への落とし込み、共有に活用

「具体的で解りやすい」「みんな同じ基準で清掃できるようになった」社員からも好評です！

【ピカピカ大作戦⑦ 対策の実施 2】

対策項目 ③「管理ツールの作成」

対策項目 ⑤「ビジュアル コミュニケーションでの周知と共有」

管理ツール「清掃手順書」を作成し車内清掃の手順や項目ごとの頻度を明文化何を使ってどうやってきれいにするかを明確にしました。

また、前回の対策検討会に参加していた外国人社員の「見てわかるようなツールがあると嬉しいな～」という意見から手順を動画にしたビジュアル コミュニケーション教材を作成し社員への落とし込みや共有に活用。「具体的でわかりやすい」「みんなが同じ基準で清掃できるようになった」と社員からも好評です。

管理ツールによってみんなが同じように5Sの「清掃」を実施できるようになりました。

ピカピカ大作戦⑦ 対策の実施 3（2024.2月）

17/22

車内清掃の実施についてもフロー図で役割分担、手順、ルールを設定

社用車清掃フロー図

組織的な活動で社員が「自分事」として考える

5Sの「しつけ」

チェックシートで「異常に気付く」「維持管理」

5Sの「清潔」

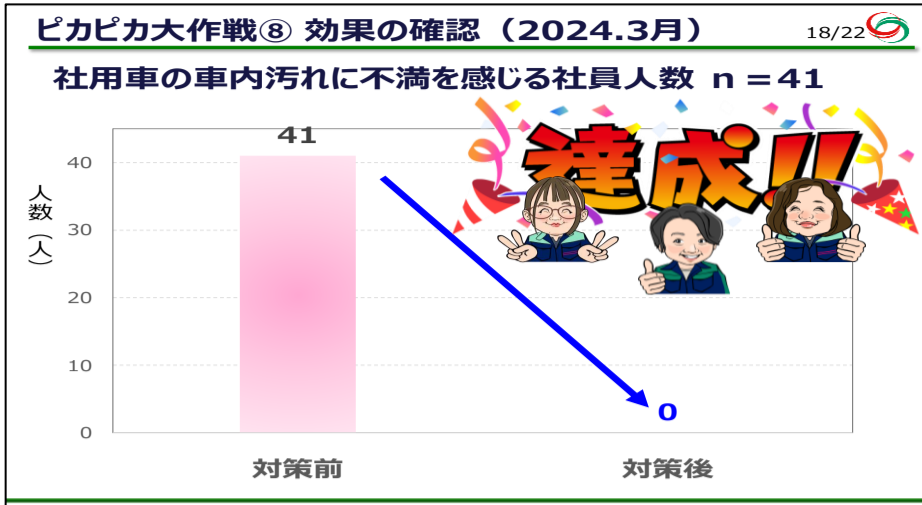
LINE WORKSを活用したV・Cで清掃日の「うっかり忘れ」や備品の「補充忘れ」を防止

今日は足マットの清掃日だ！

【ピカピカ大作戦⑦ 対策の実施 3】

車内清掃についてもこのようにフロー図で役割分担、手順、ルールを設定しチェックシートを用いて「異常に気付く」「維持管理する」5Sの「清潔」のしかけを行い社用車を使用する社員が自分事として考えられるようにルールを守り、守らせる5Sの「しつけ」を実践します。

また、活動を風化させないためにラインワークスというビジネスチャットツールを活用して、車両管理チームが清掃日の連絡配信を行い「うっかり忘れ」や「備品の補充忘れ」を防止します。



【ピカピカ大作戦⑧ 効果の確認】

対策を実施したあとに
社用車の車内汚れに不満を感じていた社員41人に調査を行い
効果を確認した結果車内汚れに不満を感じる社員はゼロ人になり目標達成！

ピカピカ大作戦の波及効果 19/22

活動後の社員アンケートより

- ・気持ちよく現場に向かえます
- ・運転にも気を遣うようになった
- ・汚さないように注意します
- ・お客様を乗せた際に「きれいにしてますね」と言われ嬉しかった

5Sの取り組みから

- 1) 社員のストレス低減
- 2) 安全意識、モラル向上のきっかけ
- 3) 会社価値 (ブランド力) 向上

みんなに良い変化が生まれました

【ピカピカ大作戦の波及効果】

活動後の全社員アンケートより

- ・きれいな社用車で気持ちよく現場に向かえます
- ・運転にも気を遣うようになりました
- ・社用車を汚さないように注意します
- ・お客様を乗せた際に「きれいにしてますね」と言われ嬉しかったなどポジティブな意見が多く聞かれ

取り組みが

- 1) 社員のストレス低減
- 2) 社員の安全意識、モラル向上のきっかけ
- 3) 会社価値、ブランド力の向上に繋がり

みんなに良い変化が生まれました。

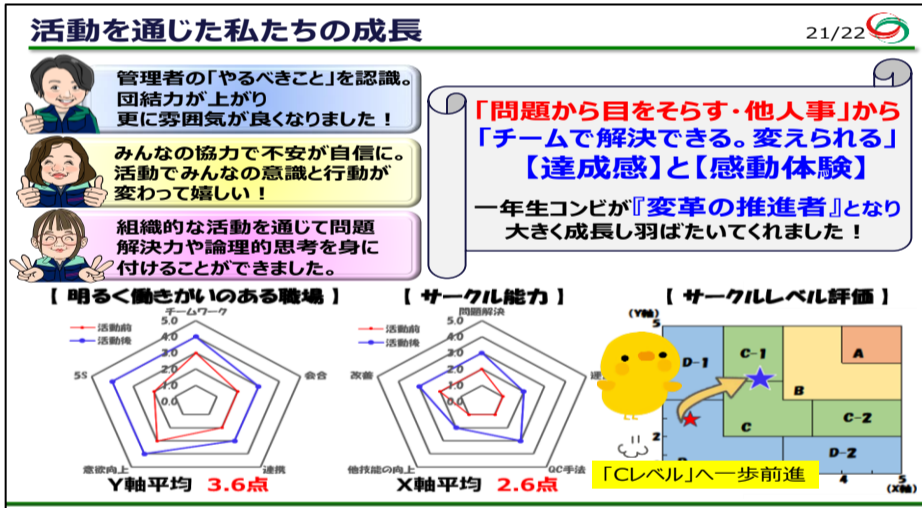
ピカピカ大作戦⑨ 標準化と管理の定着 第7回会合 20/22

分類	何を	誰が	どこで	いつ	なぜ	どのように
標準類	各フロー図の更新	職長	営業所	必要時	効果の維持継続	実施し周知する
	清掃手順書の更新	車両管理チーム	営業所	必要時	効果の維持継続	実施し周知する
教育	清掃ルールの指導	リーダー	営業所	新人入社時	活動の認識と理解	V・C教材にて教育指導する
管理	備品の適正在庫数	車両管理チーム	営業所	4/26まで	管理の適正	検証して設定する

新人社員の教育にも
しくみ化して維持継続を図ります！

【ピカピカ大作戦⑨ 標準化と管理の定着】

5W1Hでこのように管理の定着を図り
新人社員の教育にもしくみ化して維持継続を図ります。



【活動を通じた私たちの成長】

私 奥川は、管理監督者として、組織的な活動をするためには「しくみづくり」が大事であることを学び自分の立場でやるべきことを認識することができました。会合が進むにつれてメンバーの団結力も上がり、営業所の雰囲気もさらに良くなったと感じています。

小原は初めての小集団活動でのテーマリーダーとして、不安だらけでしたがみんなの協力で問題が解決していくと自信が変わっていきました。この活動でみんなの意識と行動が変わって嬉しいです。

小林は車両管理チームの1年目でこのような体験ができて良かったです。問題解決力や論理的思考を身につけてもっともっと営業所を良くしていきたいです。今まで「問題から目をそらす・ひとごと」の考えから「チームでやれば解決できる・変えられる」社員の意識も大きく変わり「達成感」と「感動体験」を得ることができました。

サブマネ1年目の小原、車両管理チーム1年目の小林一年生コンビが変革の推進者となり大きく成長し羽ばたいてくれました。サークルレベルもCレベルへ一歩前進です。

22/22

「A first grader circle」

Fly to the future Ryumya okugawa

Miyako kobaru

yayaka kobayashi

ご清聴ありがとうございました

GREEN TEC

【締め】

品質で感動を！
技術で挑戦を！
私たちグリーンテックは
品質サポートのリーディングカンパニーとして
これからも挑戦し続けます。
ご清聴ありがとうございました！